

## 【別紙】とっりの“地域の絆”“人々のつながり”エピソード募集 入賞作品

### <知事賞>

#### 【一般の部】「サムシング・ブルー」<sup>まるやま さくら</sup>丸山 桜（静岡県）

この夏、夫と鳥取砂丘に登った時、「馬の背」を登頂し、記念にスマホで自撮りをしていると、幼い娘さんを連れた女性が「お撮りしますよ」と親切に声を掛けてくれた。写真を撮って貰い、お礼を言うと、娘さんが「これ、あげる」とポッケの中から小さな青い草花を取り出し、にこにこ渡してくれた。「これ、ここに来る途中、道端で見つけて摘んだんです。良かったら貰ってやって下さい」

女性も苦笑しながら言ってくれたので、「綺麗だね、ありがとう。とっても嬉しいな」

温かい気持ちに包まれ、有難く受け取った。

五月に入籍した私達はコロナで挙式もできず、ハワイに新婚旅行も行けなかった。でも、鳥取のフラワーガールから、まさかの花束贈呈。サムシング・ブルー。青いものを身に着けた花嫁は幸せになれる。ありがとう、優しい鳥取の天使。お蔭で一生の思い出ができた。ハワイの海より美しい青に見える海を眺めながら私と夫は微笑み合い、幸せを噛み締めた。

#### 【小学生の部】「やさしい はまちゃん」<sup>あおと みゆ</sup>青戸 心結（鳥取市立賀露小学校1年）

わたしかよっている小学校のちかくのおうだんほどうに見まもりたいてたっている人がいます。その名まえは「はまちゃん」といいます。わたしは入学してすこしたったころ、一人で下校しなくちゃいけないときがありました。そのときわたしはふあんでなきそうになりながらかえっているときにはまちゃんが「いっしょについていってあげようか？」とこえをかけてくれなかくはなしながらかえってくれました。一人でかえるのがふあんだった気持ちのまにかなくなっていました。はまちゃんはいつもみんなにあいさつしていたり、一人一人の名まえをよんでくれてすごいです。わたしはまい日ははまちゃんがかえりみちにたっているとあんしんしてゆう気が出ます。わたしは、はまちゃんみたいになるためにこれからもともだち、かぞく、ちいきの人、せんせいにもあいさつをがんばりたいです。わたしは、はまちゃんがだいすきです。

#### 【中学生・高校生部】「あったかい」<sup>とくなが ゆかな</sup>徳永 夢叶（鳥取県立倉吉西高等学校1年）

私は、十一月頃にボランティアとして、小中学生と一泊二日をする行事に参加しました。そこで出会ったおじさんについてお話をします。この行事の目玉は夜に打ち上げる、ボランティアの方々の花火です。今年も、きれいで大きな花火に子ども達と大きな歓声と拍手でした。その花火の後に、大人の方々が話しておられる言葉が聞こえました。あるおじさんが、「今年は、コロナウイルスでどうなるかと思ったけれど、子供達の笑顔が見れて良かった。ありがとう。」とおっしゃったのです。お礼を言わないといけないのは私たちなのに…と思いつつ、おじさんの心の温かさを感じました。

私は、この出来事から、他人の笑顔が自分の幸せと思える人になりたいと思いました。まず、どうしたら人を笑顔にできるのか考え、しっかりと行動に移したいと思います。決して簡単な事ではないけれど、おじさんのような、心の温かくて、周りが自然とほっこりするような人になりたいです。

### <佐川急便賞>

#### 【一般の部】「幸せのおすそ分け」<sup>しがき よう</sup>志垣 蓉（米子市）

ドラマの舞台は、畑に囲まれた一本道にぽつんと設置された無人販売所。二年前の冬に米子市に越して来て、扉が閉まった木製の箱の存在が気になっていた。やがて春を迎え、開かれた扉の奥には周辺で収穫された色彩々の無農薬野菜が並べられ、販売所と判明した。

無人なのですべてがセルフシステム。だが、無人だからこそその魅力が備わっていたのだ。そこに立ち寄ると、野菜を買いに来た地元の方々と必ず会話が生まれた。美味しい野菜の見分け方や料理レシピ、鳥取県の良い所、子育てについて、若かった頃の思い出話、人生について、などと毎回話題は多岐に渡る。そして、必ず別れ際には『また会いましょう。出会えて良かった。』と言葉を交わす。地元の方々の温かさと幸せを感じる最高の瞬間だ。

今や対人販売でさえ生まれぬ会話やつながりが無人という空間で生まれる。その喜びを求めて、身体の栄養のため野菜を買い、心の栄養のためにそこに足を運ぶのである。

【小学生の部】「声をかけ合って」 <sup>こやま はるこ</sup> 小山 晴子（鳥取市立末恒小学校3年）

「おはよう。」「おはよう。」わたしの近所には、会うとかならず声をかけてくれるおっちゃんがあります。そのおっちゃんは、自分の畑で育てた野さいをよく持ってきてくれます。ねぎや白さい、大根、かぼちゃなどとてもおいしい野さいです。弟は、保育園の帰りにおっちゃんの車があると、ただいまを言い一人でも行ってしまいます。そんな弟に、「おかえり。」と元気よく言ってくれます。うちからもたくさんもらったくだ物や手作りしたおかしをあげるときもあります。わたしが持っていくと、「お〜ありがとな。」とにこにこと言ってくれるので、あげてよかったなあと思います。この間は雪がたくさんふったので、雪かきを手伝おうと思い、おっちゃんに声をかけたら、「まだだいじょうぶ。もう少しふったらよろしくな。」と言われました。もっと雪がふったらわたしががんばるぞと思いました。これからもおたがいに声をかけ合ってなかよくしていきたいです。

【中学生・高校生の部】「I Love OTATE（御建）」 <sup>おおぐち はな</sup> 大口 華（米子市立加茂中学校2年）

米子市河崎の中にある「御建」という地域。私が小学生時代とてもお世話になった、河崎の中でも高齢世帯数トップクラスの地域だ。

ひと言でいうと、とにかく元気！通学中も休日もちこちから声がかかる。自治会・消防団・高齢者会・子供会の繋がりも強固で、年中通して御建恒例行事のオンパレードだ。行事運営のための定期開催会合も徹底している。高齢化社会が叫ばれる中、元気いっぱい笑え声が絶えないおじいちゃん・おばあちゃんたちのリーダーシップ力には、本当に学ぶことが多い。「一人はみんなのために みんなは一人のために」私はこの言葉を、実写版で教わったと思っている。

一人っ子で、気持ちはあっても行動への一歩にためらうことも多かった私。御建子供会での宝物の六年間の経験と今なお声をかけてもらう嬉しさが、大きな大きな原動力となり今の中2の私がいる。生徒会執行部の一員となりみんなでの生活が楽しくてたまらない。

<三井住友海上火災保険賞>

【一般の部】「水色のあじさい公園」 <sup>なかはら しろう</sup> 中原 司朗（鳥取市）

あじさいの季節になると、あの公園に行きたくなる。一面に咲き並ぶ淡い水色。あじさいは雨を美しいシーン変えて、訪れる人をやさしく包む。花の世話をされている、ボランティアの方々、地道な活動に頭が下がります。育てる人も見る人も花を愛し、花に励まされこの場所に自然と集う。あじさい公園の水色は育てる人の清らかな心を映し、その水色は見る人の心を洗ってくれる。紫すみれ様より日本海詩壇に投稿された詩です。私達スタッフはこの思いやりに満ちた詩に、皆の胸に熱いものが込み上げて来ました。6月に入ると公園には、約3000株のあじさいの花が咲き乱れ、大勢の来園者が有ります。来園者一人一人にあじさいの切り花を、新聞紙に包んで差し上げて居ます。その時の皆さんのあの笑顔を見ると、一瞬にして今迄の苦勞が吹き飛んでしまいます。これも又、あじさい公園の水色の美しい姿なのです。

【小学生の部】「知ってほしい私の気持ち」 <sup>にし かすみ</sup> 仁志 歌純（鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校3年）

私は、きこえにくいのでろう学校に通っていますが、家の近くにある余子小学校と交流をしています。交流では、休けい（きこえにくい）のときに、外で友だちと遊ぶことが楽しいです。でも、きこえにくいので、何を言っているか分からないので、こまる（こまる）ことがあります。でも、友だちがときどき手話をしてくれるときもあります。

私が二年生のとき、おにごっこ（おにごっこ）の中で転んでけがをしたことがありました。そのとき、友だちがほけん室（ほけん室）までつれて行ってくれました。けがをしたときは、いたくて立てなくて、「どうしよう。」とふ安（ふあ）でした。でも、友だちが、「だいじょうぶ。」と声をかけてくれたので、ふ安な気持ちがなくなって、うれしくなりました。手話を使って「だいじょうぶ。」と言ってくれた友だちもいて、ほっとして安心しました。私が教えてあげた手話をおぼえていて、とてもうれしかったです。私は、友だちと毎日いっしょに外で遊びたいです。

【中学生・高校生の部】「言葉の大切さ」 <sup>たにがみ みえ</sup> 谷上 美愛（鳥取県立倉吉西高等学校1年）

私は自転車部に所属しています。秋の後半に差し掛かって枯れ葉が落ちる日のこと、いつも通り部活を開始しようとした時、競技場の管理人さんが出てきてこう言われました。「枯れ葉取っといたけどまたいっぱい落ちとるなあ。危ないけ気をつけてな。」私はこの言葉を聞き、とてもありがたく思い、温かい気持ちになりました。このエピソード文を機にふと思いました。それは「言葉の大切さ」です。人は喋ることができなければ気持ちは伝わりません。だから、言葉で自分の気持ちを伝えることはとても大切で、時には人を温かい気持ちにさせ、時にはお互いを理解し合うことができます。

冷たい言葉ではなく温かい言葉が増えることを願います。私は、このエピソード文を機に「言葉の大切さ」を再確認しました。今、家族・友達・動物などとコミュニケーションを取っていることは、これからの自分自身の成長にも繋がることだと思いました。大切にしていきたいです。